

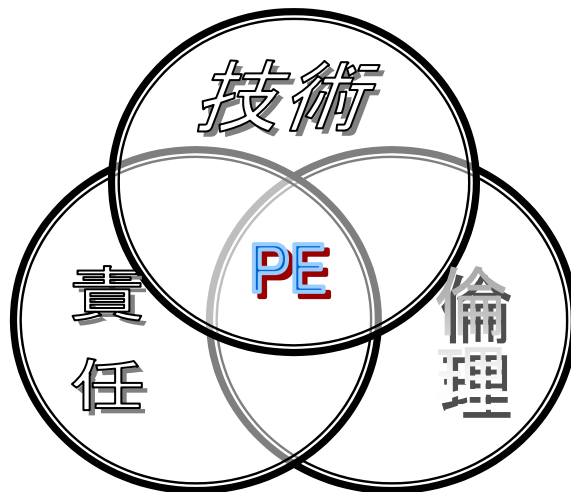
日本 P E ・ F E 試験協議会

The Japan PE/FE Examiners Council
(JPEC)

特別協賛会員制度 ご案内

趣意書 と 入会へのおすすめ

2005 年 9 月



特定非営利活動法人

日本 P E ・ F E 試験協議会

The Japan PE/FE Examiners Council
(JPEC)

特別協賛会員制度・設立趣旨

1907年、米国ワイオミング州で、法で定められたエンジニア及び測量士の免許資格が全米の中で最初に誕生しました。以来、他の州でも、この制度を取り入れ、1930年代には全米中に広まり、今では、地球規模で国際的に通用するようになった米国の Professional Engineer (PE) 資格の受験に関して、その一次試験である F E 試験が日本で受験が出来るようになってから10年が経ちました。この全米共通の公的資格試験は、全米試験協議会 (NCEES: National Council of Examiners for Engineering and Surveying の略) が試験問題を作成し、オレゴン州政府試験委員会 (OSBEELS : Oregon State Board of Examiners for Engineering & Surveying の略) が日本での試験担当の州として、1994年10月に実施して以来、F E 試験を継続しています。

一方、日本 P E ・ F E 試験協議会(略称：JPEC)の設立経緯は、先の米国オレゴン州政府試験委員会による強い要求に基づいたものであり、日本での F E 試験は1994年以来、経済産業省(旧通商産業省)の外郭団体である社団法人日本工業技術振興協会が担当しておりました。しかしながら、オレゴン州政府側の意向により、2001年10月のF E 試験から、特定非営利活動法人 日本 P E ・ F E 試験協議会が、F E 試験の全ての実施を任されました。これは、日本側で F E 試験に携わる担当者は、すべて米国・P E 資格保持者でなければならないとのル - ルに従ったものであり、オレゴン州政府側と日本 P E ・ F E 試験協議会と互いに協議し、合意した覚書 (M O U) に基づいておりますが、来年1月に M O U が終結いたすことに伴い、全米試験協議会 (NCEES: National Council of Examiners for Engineering and Surveying の略) と 当 日本 P E ・ F E 試験協議会との間に、M O U が締結されることで、N C E E S と J P E C の間で F E 試験を、日本で F E 試験を実施してゆくことについて、現在、N C E E S 側と協議中であります。

このような状況下で、特別協賛会員制度は、当試験協議会が独立法人として、今後、F E 試験、並びに P E 試験を、日本に根付かせることで、広く、皆様のご支援を賜り、当会員の学生・社員が受験する場合、その受験料を割り引かせて頂くことで、より一層、多くのかたがたが受験できることになり、一方、当試験協議会も、より充実をはかることが目的であります。この試験を通じて、日本の若手および中堅のエンジニアが海外に広く活躍できる国際的なエンジニアへと羽ばたくことになると確信しております。まず、具体的なターゲットと

して、当試験協議会は、米国オレゴン州政府試験委員会と全米試験協議会との絆をより一層太いものにし、この活動の輪を強化致します。このため、特別協賛会員による皆様がたの強いご支持が不可欠と考えております。

近年までは、二次試験である P E 試験が 横須賀・米国海軍基地内で実施されていましたが、2001年の9.11の同時多発テロ以降、同基地内での P E 試験の実施が、米国政府から求められている Security 上、不可能となりました。しかしながら、この N C E E S との協議で、日本国内での P E 試験を再開する可能性についても、話し合いをする予定にしております。

当試験協議会は、姉妹団体である日本プロフェッショナルエンジニア協会（略称：日本 P E 協会・JSPE）と共に、世界に通用するプロのエンジニアを育成するために、P E 一次試験の F E 試験への受験を勧奨すると同時に、F E 試験合格者を高く評価し、P E 二次試験(本試験)の受験を勧奨すると共に、国際舞台で活躍されているあらゆるエンジニアに対して、P E 資格についての理解を高める事を目指す所存であります。また、プロフェッショナルエンジニア(P E)には倫理遵守の義務があり、“CODE OF ETHICS”の徹底をはかると共にエンジニアの社会的地位向上を内外共に高める努力を行ないます。従いまして、今後は、当試験協議会と日本 P E 協会との連携を強化し、日本 P E 協会の主催するセミナー・講習会などに関して、特別会員の皆様にご参加いただきますよう配慮いたす所存です。以下、その資格について、ご説明いたします。

P E / E I T (E I とも称す) (F E 試験合格者) は、公共に奉仕することを目的に米国で創設された エンジニアの能力を客観的に評価する基準となる資格です。P E / E I T には、技術知識のみならず経営知識や倫理観等、エンジニアの総合的な能力が要求されます。国際社会では、地球環境問題・製造物責任問題等エンジニアとしての仕事は社会的影響が大きく、技術能力プラスその責任能力が問われる中、P E 保有者の評価は高く、活躍の場が米国はもとより世界中に広がっています。日本人の有資格者はまだ少数ですが大変価値があり国際的に通用するエンジニアとしての活躍が期待されています。

P E / E I T 資格を取得するためには次の 5 ステップが必要です。

P E 資格取得までの順序

STEP 1 工学系 4 年制大学 修了者で、ABET 同等と認定された者

米国の E C E にて、A B E T と同等か、否か、その判定をした上で、同等と認

められれば、F E 受験者として、F E 試験を受験することが出来ます。

STEP 2 FE 試験合格 (EIT 資格取得)

F E 試験は、年に 2 回、4 月と 10 月に実施されます。合計 8 時間の試験で午前・午後の 4 時間ずつに分けて行われ、午前の部では工学、数学、物理、化学などの 12 教科から、全部で 120 問が出題されます。午後の部では 7 科目(化学、土木、電気、機械、産業、環境、一般)から 1 科目 60 問を選択します。午前・午後、どちらも多岐選択方式 (Multiple-Choice) 形式の出題です。

STEP 3 PE 受験者は、最低 4 年間以上の実務経験が必要

原則として、実務経験は 4 年以上が必要となります。実務経験は、エンジニアリング関連業務(計画・研究・設計・分析・試験・評価又は、これらに関する指導)に実際に従事した年月をさします。実務経験内容等を評価するため 5 人の身元照会状による傍証が必要です。(5 人中 3 人は、PE 保持者。なお、一人は、Supervisor であること)

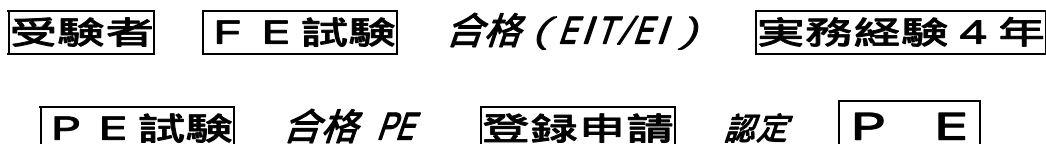
STEP 4 PE 試験合格 (PE 資格)

F E 試験に合格し、実務経験を認められ適格な身元照会人を揃えた方だけが PE 試験を受けることができます。試験時間は 8 時間、午前・午後の部、共に、多岐選択式です。問題数は、概ね 80 ~ 100 問程度です。(科目により選択の多岐選択問題があります。)合格後、PE として仕事をする場合は、試験科目の名称を表示することになりますので、実際の仕事に必要な科目を選択しなければなりません。

STEP 5 PE の個人登録とその更新

PE 試験で合格点をとっただけでは [PE] にはなれません。オレゴン州、或いは、他の州のボード等受験した州ボード(州政府の試験委員会)が、Take Home Exam と呼ばれる、PE として承認されるための必要事項を記入し、その審査を受け、その結果、初めて PE としての登録が可能となります。さらに PE 登録後は、原則として 2 ~ 3 年毎(州毎に異なる。)に、継続教育(CPD)の確認など、ボードの審査が、定期的に行われ、そのチェックを受け、登録が更新されます。

以上のことを、フロ - 図で表すと、次のようになります。

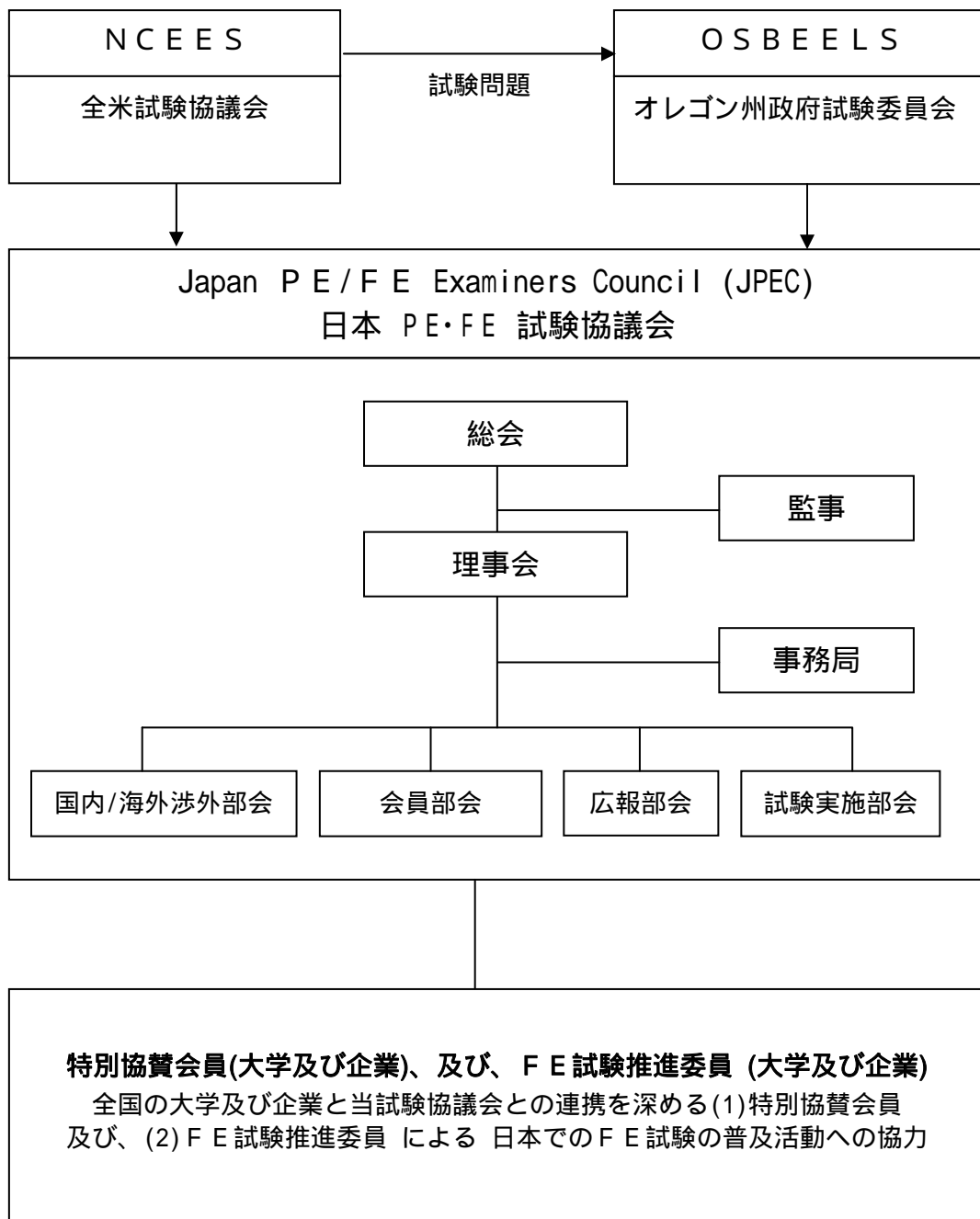


お問合せ先：

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-13-6-212 日本 P E ・ F E 試験協議会 事務局
電話：03-3583-8781 FAX：03-5545-4343 E-mail：info@jpec2002.org

日本 P E ・ F E 試験協議会 組織図

日本 P E ・ F E 試験協議会 (JPEC) 関連系列図 及び 組織図



特別協賛会員の特典

特別協賛会員に加入して頂きますと下記の特典がございます。

注： 特別協賛会員とは、特定非営利活動法人 日本 P E ・ F E 試験協議会の活動趣旨に賛同され、加入して頂いた 大学、企業、その他の 団体会員のことです。

特 典

- 1 . F E 試験の受験料の特別割引**
大学院生の受験料、及び、一般社会人(大学の先生を含む)の受験料を、特別協賛会員割引料金として、**一律 3000円 割り引きます。**
- 2 . 出版物の割引**
大学・企業には、当試験協議会が関る各種出版物 (F E ・ P E 受験対象参考書) について、会員割引価格にて、販売を致します。
- 3 . F E ・ P E 受験情報提供、及び、受験心得などのセミナー - 開催**
F E ・ P E 試験に関する最新情報や、受験に際しての注意事項など、日本とは異なる米国で行う試験に対する情報を提供します。
- 4 . その他**
当試験協議会の姉妹団体である日本プロフェッショナルエンジニア協会の支援を頂き、推進委員に登録頂きました大学・企業を対象に、P E 保持者による具体的な受験に際してのアドバイスや受験に関する質疑に対応します。従いまして、この特別協賛会員に加入された大学・企業が、同時に 推進委員に加入して頂く事で、同様のアドバイス等が受けられます。 本件について、関心がございましたら、当試験協議会までご連絡願います。

会 費

特別協賛会員 会費 (年額) 63万円

会費は、入会月から1年間とします。

入 会 金

5万円

なお、申込書を次頁に示しますので、加入ご希望のかたは、お申込み願います。(大学・企業別)

日本PE・FE試験協議会 宛

特別協賛会員・入会 申込書

(大学関係用)

貴 日本PE・FE試験協議会の特別協賛会員の趣旨に賛同し、ここに、入会を致します。 請求書を送付願います。

承認者 (学部長、または、代行者) :

日 付 ; 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

大学のスタンプ

氏名 : _____ 印

大学名 : _____

役 職 : _____

住所 : 〒 _____

電話 : (_____) _____ - _____ FAX: (_____) _____ - _____

E-mail: _____

連絡窓口担当者

氏名 : _____

学科、及び、役職 : _____

住所 : 〒 _____

電話 : (_____) _____ - _____ FAX: (_____) _____ - _____

E-mail: _____

日本PE・FE試験協議会 宛

特別協賛会員・入会 申込書

(企業関係用)

貴 日本PE・FE試験協議会の特別協賛会員の趣旨に賛同し、ここに、入会を致します。 請求書を送付願います。

承認者 (取締役、本部長 または、代行者)

日付；平成 年 月 日

企業のスタンプ

氏名： _____ 印

企業名： _____

役職： _____ 所属： _____

住所： 〒 _____

電話： (_____) - _____ FAX: (_____) - _____

E-mail: _____

連絡窓口担当者

氏名： _____

所属、及び、役職： _____

住所： 〒 _____

電話： (_____) - _____ FAX: (_____) - _____

E-mail: _____